



カルタ大会

12月17日(火)にカルタ大会が開催されました。昨年から、新春ではなく年末の大会ではありますが、大いに盛り上がりを見せました。百人一首の和歌が詠み上げられるたびに、歓声と笑い声が飛び交います。生徒と教員もここでは対等にカルタに向き合います。大会ラストの歌は「ちはやぶる」。詠み手の校長先生も驚くほどの反応の早さで、それぞれの畳の上でカルタを叩く音が響き渡りました。以下、大会結果です。

クラスの部

優勝 一年一組

個人の部

準優勝 二年一組

優勝 足立翔海(29)

準優勝 藤尾夏帆(24)

三位 大塚蒼生(23)

中村明帆(23)

佐想啓太(23)

稲川佳那(23)

教員の部

西本雄亮(30)

高校生フォーラム

12月14日(土)、銀の馬車道フォーラムに本校生徒会が参加しました。

フォーラムでは、高校生が4つの班に分かれ、日本遺産「銀の馬車道」を多くの方に知ってもらうための方法を、それぞれ発表しました。SNSやVRの活用など、どの班も高校生らしいユニークなアイデアを取り入れた発表となり、会場は大いに盛り上がりしました。

フォーラムの後半には、東洋のマチュピチュで知られる別子銅山を活動の拠点とする、新居浜南高

ユネスコ部の生徒と交流し、銀の馬車道の歴史的価値の理解を深め、今後自分たちがどのように関わっていくのかを考える時間となりました。



いのちの大切さ 学び教室

12月16日(月)、3年生を対象に助産師で上級思春期保健相談士の前田美佐代氏によるこころとからだの成長に合わせた思春期保健教育の講演会を実施しました。

多目的教室で行われたスライド視聴では美しい色調の神秘的な生命の画

像や分かり易い画像により、両親から誕生した自分自身やわが子誕生の際のいのち尊さ、母性や父性、また、生と性に関する男女の自己決定権について考えを深めていきました。

また、柔道場に移した後、準備された各種体験にそれぞれの代表となった生徒数名の取り組みを通して、みんなで学びを深めていきました。卒業を目前に控えた生徒たちにとって、人生とともに歩む相手への配慮と思いやり、大人としての良識などについて思いを巡らしつつ、いのちに向き合えるかけがえのない経験となりました。



ちょっと一言 ◇今週は、期末考査を終えて学校行事が目白押しでした。「座学では学べないものを学ばせたい」という教員の思いが込められた中身になっていました。教員に感謝するとともに、よい機会を与えてくださった皆様に感謝します。高校生フォーラムに参加した高校生29名の内16名が本校の生徒でした。とても誇りに思いました。(N. A.)

・「神崎夢実現プロジェクト」
・部活動「外部指導者」・「神高部活動基金」
を募集しています。

詳しくは神崎高校へご連絡
いただくか、ホームページを
ご覧ください。

